



公益財団法人 友愛

2021 年度
事業報告

I はじめに

（設立）

一般財団法人友愛は、昭和28年（1953年）に結成された友愛青年同志会を母体とし、昭和34年（1959年）に財団法人日本友愛青年協会（所管文部省）として設立された。平成23年（2011年）4月に一般財団法人へ組織変更し、また日本友愛協会と名称を変更して公益事業を継続。

平成29年（2017年）12月22日付で、名称を一般財団法人友愛に変更した。そして、平成31年（2019年）3月28日公益財団法人として認定される。

（目的）

この法人は、自立と共生の友愛の理念の下に、国内外の青年や社会人の交流を深め、友愛の理念を次世代に継承、発展させる人材を育成し、もって世界平和に資することを目的とする。（定款より）

Ⅱ 概 況

総 括

2019年の末から始まった新型コロナウイルスの蔓延によるパンデミックは、二年を経過した今も終息に至っていない。本財団の事業、特に海外との往来を軸にしている事業にとって、思うように実施できなかつた部分は多い。

そんな中、時代の流れに沿って Web（オンライン）を活用しての表彰式、勉強会の実施などが実現できたことは収穫であった。しかし、人と人が対面し、お互いの思いを伝えるという本来の交流形式に比べると、手ごたえとしての実感が薄いことは否めない。

困難な状況の中ではあったが、「今、友愛としてできることを実践する」という合言葉のもと、事業を担当する理事が中心となって財団運営を牽引し、友愛らしい活動が継続できたことは、記録に留めたい。その牽引の力が及び、「友愛ユニオン」と命名された海外派遣経験者などの若者による勉強会など、本財団の将来につながる動きが胎動し始めたことは、喜ばしい出来事と言える。

今年度の総括として特筆すべきは、年度末に届いた「税額控除承認団体」の認定書である。ここに至るまでに、ご尽力、ご協力くださった関係各位のご努力の賜物と、この場をお借りして御礼申し上げる次第である。

これにより「新しい公共」のあり方を真摯に実践し、これから生まれるであろう多くの団体の規範となるべく努力を続けて行きたい。

世界の混沌たる状況を引き合いに出すまでもなく、新型コロナウイルスの影響で、人と人とのつながりが希薄になっている今、今こそお互いを思い、尊重し、助け合う「友愛の理念」が必要な時であると、強く思う。

そのためにも、本財団の存在意義を再確認し、友愛理念の普及を以て世界平和に資するという、定款に掲げた目的にそって、活動を続けて行きたいと思う。

Ⅲ 公益事業実施報告

1、国際交流事業

（定款 第4条 第1項 第(1)号に基づく事業）

(1)OEJAB 派遣

事業概要

国際相互理解促進のための交流を実践する事業である。人材育成及び支援事業として友愛派遣員等の交流を通じて、相互理解、相互尊重、相互扶助を両国の若者が実践する機会を与える。具体的には、永年協力関係にあり、協力協定を結んでいるエヤップ（OEJAB／オーストリア勤労青年連盟）と協力し相互交流の機会を設ける。 ＊文中敬称略

事業実施

① 2021年度派遣員募集

▶ポスター郵送 2021年10月8日（金）
全国国立大学及び都内近郊私立大学41校へ
掲示等による学生への周知を依頼

▶応募締め切り 2021年11月30日（火）

② 選考委員会選考

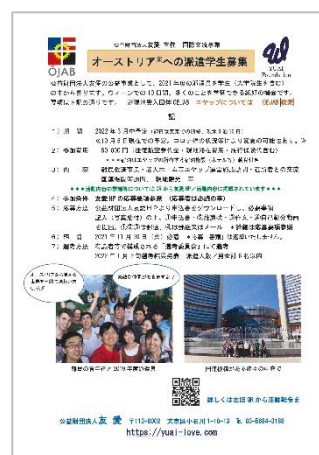
▶応募者人数 27名

▶提出書類【申込書（写真貼付）、教授の推薦状（書式自由）、参加希望動機・自己紹介文（書式自由、600字以内）、自己紹介動画（1分以内）】

上記提出書類及び動画を以って、選考委員が採点した上で、下記のとおり選考委員会を開催、協議の上、下記記載の男女各3名（他補欠男女各1名）を派遣員候補として理事会に諮問する。

選考委員会概要

日時 2022年1月6日（木）13:00～14:40
場所 友愛サロン



ポスター

出席者	谷藤悦史	早稲田大学名誉教授
	☆戸澤英典	東北大学教授
	☆田中正基	京都府立洛水高等学校教諭
	初瀬智彦	日本橋総合登記事務所司法書士
	星田 寛	公益財団法人 公益法人協会 相談員
	西川伸起	公益財団法人友愛 理事OEJAB 受入・派遣事業担当
	羽中田元美	公益財団法人友愛 事務局長

注) ☆は Web オンライン参加

2021年度派遣員候補

北島貴央	23歳	中央大学	4年	男性
鈴木健太	23歳	東北大学 大学院	2年	男性
計良 衛	21歳	東北大学	4年	男性
佐野翔子	24歳	東京大学 大学院	2年	女性
奥山千波	21歳	中央大学	3年	女性
後藤穂乃実	19歳	九州大学	2年	女性

③ 理事会決定

選考委員会の諮問を受け、第19回 理事会（2022年1月13日）において、選考委員会の推薦どおり2021年度の派遣員として決定した。

▶派遣人数 男子学生3名，女子学生3名 決定

2022年1月20日付で選考結果を下記の各位に郵送した。

- ◆応募者本人 全員
- ◆推薦教授・教諭 全員

④ 2021年度派遣員のオーストリアへの派遣実施時期について

募集時には2022年3月の派遣を予定していたが、新型コロナウイルスの新種株が蔓延し、終息の気配を感じることができない状況下、下記の通り延期を余儀なくされている。

2022年1月13日（木）第19回通常理事会において実施の可否が検討された。OEJABより、現地の状況に鑑み見送らざるを得ない旨の連絡があり、今夏をひとつの候補に検討したいとの連絡があったこと、また、ア) EUにおいて日本は渡航禁止の対象国となっている イ) 帰国後2週間の待機期間が設けられている ウ) 多くの大学で、学生の渡航を禁止している等を考慮すると、3月の実施は現実的ではないとの結論を得、予定していた予算を念頭に、2022年度に延期実施することが決議された。実施時期については、OEJABと協議し、2022年夏を候補として検討することとなった。な

お、派遣予定員のうち卒業などで状況が変わる者については、適宜配慮を検討することとなった。

併せて、2020年度選出の派遣員についてもコロナ禍のため派遣については延期が継続しており、2021年度派遣員と同様、当財団とは連絡を継続しつつ2022年度に派遣を実施する予定である。

⑤ 派遣前事前勉強会実施

派遣時期が見通せない状況ではあったが、下記の通り2021年度派遣員向けに事前勉強会を開催した。（奥山千波は在マルタ共和国のためWebにて第1部のみ、オンライン参加）また、別記の友愛ユニオンの会にも参加。

第1部：友愛の歴史を学ぶ

2022年3月26日（土） 午後13：00～15：00

於：友愛サロン

▶講師

- ・東北大学 戸澤英典教授
「クーデンホーフ＝カレルギーの劇的な生涯と後世への影響」
- ・西川伸起（公益財団法人友愛 理事 OEJAB 受入・派遣事業担当）
「友愛の歴史」



▶他関係参加者

- ・鳩山由紀夫理事長
- ・井田安信（公益財団法人 友愛 理事 ミャンマー農業研修生受入事業担当）
- ・攪上哲夫（公益財団法人 友愛 理事 小論文コンテスト担当理事）
- ・南埜幸信（公益財団法人 友愛 理事 写真コンクール担当理事）
- ・中島政希（公益財団法人 友愛 理事）
- ・鳩山太郎（公益財団法人 友愛 理事）
- ・後藤大智（2019年度友愛派遣員）

・小倉佑太（2020年度友愛派遣員）

第2部：「私にとって友愛とは」を学ぶ

2022年3月27日（日）午前10：00～12：00

於：友愛サロン

他関係出席者

- 西川伸起（公益財団法人友愛 理事 OEJAB 受入・派遣事業担当）
- 戸澤英典（東北大学教授 公益財団法人友愛 評議員）
- 田中正基（京都府立洛水高等学校教諭 公益財団法人友愛 評議員）
- 羽中田元美（公益財団法人友愛 事務局長）
- 小倉佑太（2020年度友愛派遣員）

第3部：鳩山会館見学

2022年3月27日（日）午後14：00～15：00

- 引率者：西川伸起（公益財団法人友愛 理事 OEJAB 受入・派遣事業担当）
- 羽中田元美（公益財団法人友愛 事務局長）
- 小倉佑太（2020年度友愛派遣員）

★ 友愛ユニオンの会 実施

第1回 2021年12月4日（土）午後17：00～19：00

第2回 2022年3月26日（土）午後15：00～18：00

友愛サロンに於いて国際交流事業の一環として行っている OEJAB(エヤップ)への学生派遣事業及び中国で開催されたアジア・アフリカユースフェスティバルへの派遣事業など、次世代を担う若者に、国際感覚を養い、友愛の理念を体感する機会を提供するため実施している派遣事業の経験者が一堂に会し、派遣に関する情報交換を行った。また自らの体験を通じてこれからの友愛について語り、親睦を深めた。

前回の派遣員は、既に社会人になっている者も混じる。鳩山由紀夫理事長を囲んで、楽しく有意義な時間を過ごした。

—第1回出席者—

- 西川伸起（公益財団法人友愛 理事 OEJAB 受入・派遣事業担当）
- 戸澤英典 東北大学教授（公益財団法人友愛 評議員）
- 田中正基 京都府立洛水高等学校教諭（公益財団法人友愛 評議員）
- 井田安信（公益財団法人友愛 理事 ミャンマー農業研修生受入事業担当）

南埜幸信（公益財団法人友愛 理事 写真コンクール事業担当）

羽中田元美（公益財団法人友愛 事務局長）

2017年度派遣員 戸澤春奈

2019年度派遣員 後藤大智・成田 葵・木本康瑛・吉田大志

2020年度派遣員 小倉佑太・龍 舞香・浦 彩人・舘 宏輔・手塚七彩・
田島桃子

—第2回出席者—

鳩山由紀夫 理事長

谷藤悦史 早稲田大学名誉教授（公益財団法人友愛 評議員）

戸澤英典 東北大学教授（公益財団法人友愛 評議員）

西川伸起（公益財団法人友愛 理事 OEJAB 受入・派遣事業担当）

井田安信（公益財団法人友愛 理事 ミャンマー農業研修生受入事業担当）

攪上哲夫（公益財団法人友愛 理事 小論文コンテスト事業担当）

南埜幸信（公益財団法人友愛 理事 写真コンクール事業担当）

中島政希（公益財団法人友愛 理事）

鳩山太郎（公益財団法人友愛 理事）

羽中田元美（公益財団法人友愛 事務局長）

2017年度派遣員 戸澤春奈

2019年度派遣員 後藤大智・成田 葵・木本康瑛・吉田大志

2020年度派遣員 小倉佑太・龍 舞香・浦 彩人・舘 宏輔・手塚七彩

2021年度派遣員 北島貴央・鈴木健太・計良 衛・佐野翔子・

後藤穂乃実・奥山千波（Web）



鳩山由紀夫理事長を囲んで、全員が笑顔で勢揃い。
この力とエネルギーを結集して友愛活動を推進し
て行きましょう！

(2)OEJAB 受入

事業概要

OEJAB が推薦する若干名の若者を受入、日本についての研修、平和理解のた

めの広島市視察などを実施。戦争の傷跡を有する日本とオーストリアの若者で、世界平和に向けての新たな思いの形成につなげる。また、両国の若者の交流は、相互理解の基礎となる。世界平和を目指す若者の育成は、本財団の要となる理念を実践する事業である。

事業実施

再び新型コロナウイルスの感染拡大が起き、オーストリア・日本の両国とも出入国の規制を強めたため事業実施を断念せざるを得ない状況であった。

OEJAB の希望もあり、次年度（2022 年度）には、是非とも実施の運びとなるよう、時期などを模索している。

***OEJAB 派遣・受入事業の一環として、本年 10 月に創立 75 周年を迎えた OEJAB にあて、鳩山由紀夫理事長の祝辞（ビデオ録画）を撮影し、OEJAB に贈った。

OEJAB では、自身のホームページ上にこれを公開し、友愛との関連を報告した。

(3)ミャンマー農業発展支援・農業指導者育成事業

事業概要

貧困の解消は、世界平和の基盤であり、ミャンマーも例外ではない。経済基盤を農業に求めているミャンマーに向けて、農業発展支援・農業指導者を育成するための事業である。アウンサンスーチー国家顧問より依頼を受け、友愛の理念のもと、「全ビルマ学生連盟外交委員会日本」と「ミャンマーニューリーダーを育成する会」と協力し、NLD（国民民主連盟）等の協力を得、派遣された研修生等に、ミャンマー農業発展に資する指導者としての必要な研修及び農業発展技術習得の情報を与え、その活動を支援するものである。

事業の目的として次の内容を挙げている。

ミャンマーの主たる産業が農業であることから、農業に関する知識、技術を日本の文化や考え方、生活に触れながら学ぶ機会を設けること。

研修後は自国において、日本で学んだことを伝え実践するよう努める。

研修を通して日本について理解してもらい、今後のミャンマーとの友好関係を緊密なものにする役割を担ってもらう。

同時に日本国内の若者に、アジアの他国の実情を知る機会ともなり、相互理解の推進につながる。

事業実施

新型コロナウイルスの感染拡大・ミャンマーの国内事情など、事業実施において往来が妨げられる事態が続いており、2021年度は国内でできることを中心に実施、事業継続を目指した。

1) 「堆肥を作ろう！ …簡単・安い・安全な肥料…」(仮題) 作成に向けて7年間の農業指導者支援育成事業を通じて、経済活動につながるような(質・量)農作物を生産するには、土壌改良(施肥)の必要性があることを認識した。これを受けて、現在2021年度からは下記の方角性で活動を行っている。

(2022年度事業としても同様に継続して実施する予定である)

- ①肥料を施すことの必要性を、農業従事者が強く認識するよう啓発していく。
 - ②肥料は、「安全・安価」な「堆肥」が好ましいことを知らせる(購入の必要がない)。
 - ③身近にある材料(鶏糞・糠・もみ殻・魚の廃棄物・糞・その他)を使って「堆肥」をつくる。
 - ④堆肥を使うことは、「有機野菜」として商品価値を高めることができる。
- ①～④をまとめて、解りやすい(ミャンマー語表記・イラストなど多用して)リーフレットを作成し、ミャンマーの農村地帯で配布する ⇒ 細々ではあるが、農作物の質・量を増やす一助となるべく、在日ミャンマーの方々と協力し、情報を得ながら進めている。

=== 【現状把握している問題点】 ===

- A) ミャンマー各地域の雑駁な土壌の性質(PH値・成分構成など)
- B) 「緑肥農法」実施の可能性 ⇒ 豆は「ムクナ豆」を検討

▶2021年11月7日(日) コンポストの効果・有機肥料について学ぶ

実際の有機肥料の作り方を勉強するため、群馬県安中市の高橋稔さんを訪ねた。ミャンマー農業指導者育成事業の一環として、「ミャンマーに有機肥料の安価な作り方を伝えるリーフレットを作成するプロジェクト」を進めている。



自宅の前に自家用のキウイの棚を作っていて、その棚の下に、コンポストを設置している。食べ物の残り、野菜や果物の皮、手入れで抜いた雑草など、なんでも放り込んでしまう



コンポストの使い方を熱心に聞く理事たち。高橋さんも一生懸命説明してくださった

2) 在日ミャンマーの方との交流・情報交換会の開催

▶2021年6月20日（日）若者の集い

午前11時より友愛サロンに於いて「ミャンマー連邦共和国・日本 両国の未来を考える若者の集い」が開催された。これは公益財団法人友愛が、公共事業として実施している「ミャンマー農業支援・指導者育成事業」の一環として開催された。在日ミャンマーの方々、友愛ユニオンのメンバー他、大勢の参加があった。



これまでの事業を解りやすい資料として作成、解説する井田安信理事



ミャンマーの青年たち友愛ユニオンの若者たち、若い力が一つになって両国の未来に、そして世界平和に活躍する日が来ることを予感させる



クーデターによる現状の生活困難さなど切実な訴えが数多く聞かれた



土地の改良・有機農法について南埜幸信理事が詳しく解説

▶2021年12月5日（日）勉強会「ミャンマーの現状を知る」

在日ミャンマーの方々、友愛ユニオンメンバー、理事・評議員が参加。

午前11時より、友愛サロンに於いて勉強会が開催された。

在日のミャンマーの方々から現状をお聞きし、友愛として何が出来るかを探るために開かれた。2021年度のミャンマー関連事業は、ミャンマーの根幹産業である農業発展のため、安価で安心な肥料造りを解説してリーフレットを作成し、ミャンマー本国へ送るべく活動を続けている。

ミャンマーの方々が望む「協力・援助」は何だろうか、直接ミャンマーの方々からお話をお聞きした。当日はミャンマーの方7名が参加。



鳩山由紀夫理事長も参加し、友愛ユニオンメンバーとミャンマーの方々の意見交換も実施



ミャンマー事業担当／井田安信理事。当日は進行役として活躍



友愛の事業にも中心となって協力してくださっているミヨウさん（左）ミヤットウさん（右）

3) その他の活動

▶2021年9月24日（金）鳩山由紀夫理事長が石橋通宏参議院議員と面談

▶2022年1月7日（金）理事長を在日ミャンマー大使が表敬訪問

H. E. Mr. Soe Han, Ambassador of Myanmar（ソー・ハン駐日ミャンマー大使）（左上）及びMs. Tin Thandar win, Second Secretary（ティン・タンダー・ウィン二等書記官）（左下）

ミャンマー事業担当の井田安信理事が資料と共に、現在の活動を説明し、理事長より、在日ミャンマーの方々への支援をお願いした。



2、表彰事業

（定款 第4条 第1項 第(2)号に基づく事業）

(1)友愛国際写真コンクール

事業概要

言語を超えて訴える写真という媒体を通して、友愛・平和・環境の重要性を表現した作品を表彰し、世界平和実現の精神涵養につなげる。

「友愛」「平和」「緑(環境保護)」「人と自然」をテーマに、写真コンクールを行う。方法として、インターネット（携帯電話を含む）が世界的に発達し、社会的コモンセンスを得ていることから、世界を対象にインターネットでの募集・応募も安易に行えるようになった、

これらを踏まえ、植林事業において永年カウンターパートとして協力関係を続けている中華全国青年連合会（中国国際青年交流中心）との関係をこの事業を以って継続し、日中友好を築くこととする。

国籍を問わず応募者を募り、友愛の理念を広める契機となる。

事業実施

・中国国内においては、中華全国青年連合会（中国国際青年交流中心）が核とな

- り、インターネットを利用した募集、管理を行う。
- ・日本国内においては、友愛のホームページ上に、コンクール開催を掲示し募集する。
- ・投票サイトを開設。日本語・中国語・英語にて掲載。
- ・応募締め切り後、日中両国の審査員によって審査を行う。
- ・審査終了後、別途日程を定め、中国(北京)において、展示会及び表彰式を行う。

▶ **第7回友愛国際写真コンクール Web(オンライン)表彰式開催**(2020年度分)

日時：2021年 5月14日（金） 14:00～

場所：中国 北京／中国国際青年交流中心講堂

参加者：

— 来 賓 —

貴島善子（在中国日本国大使館公使）

渡邊倫幸（在中国日本国大使館一等書記官）

— 日本側 —

鳩山由紀夫（公益財団法人友愛 理事長）

新藤健一（日本側審査員 写真家）

攪上哲夫（公益財団法人友愛 理事）

羽中田元美（公益財団法人友愛 事務局長）

— 中国側 —

王義軍（中国国際青年交流中心党委員会書記）

賈鉄松（中国国際青年交流中心副主任）

王希宏（中国国際青年交流中心公益合作部部长）

于文国（中国側審査員／オンライン）

成衛東（中国側審査員／オンライン）

翟紅剛（中国側審査員／オンライン）

呉承歆（中国側審査員／オンライン）

受賞者代表 15名 他学生も参加

*会場に設えた大スクリーンに、中華全国青年連合会と友愛のこれまでの植林・日中青年交流等協力して行った事業を紹介するビデオが流れ、コンクールの歴史についても説明が行われた。

*鳩山由紀夫理事長の挨拶・王義軍書記の挨拶に次いで、来賓の貴島善子公使が流暢な中国語で挨拶をされた。

*受賞者もオンラインで、作品についての思い出、受賞の喜びなどを述べた。

*初めての試みのオンライン表彰式であったが、概ね成功したと総括できる。



受賞作品

2020年 第7回 友愛国際写真コンクール 受賞作品 紙上発表

 友愛賞 張華「別の青白顔」	 友愛賞 松野中「みんなママの子だよ」
 二等賞 三浦幸「互の使者」	 一等賞 幸智恵「配女」
 二等賞 王玉明「旅の途中の出来事」	 三等賞 陳琴「氷橋」
 二等賞 劉淑鳳「墨舞の女、子供時代」	 三等賞 菊地海「後の万景の表紙」
 三等賞 王玉安「大舞台」	 三等賞 Leya Enkezar「白い旅路」
 三等賞 林忠「山荘」	

優秀賞

 劉宇中「熱演後」	 北沢淑「門口の物のかかじりを守るボランティア」	 渡島利生「野生犬」
 黄山園「金心にかえて」	 山崎 ベイビー、まとも	 和泉「あんな幸せ」
 宮田誠「楽しい時間」	 辻民尚「舞雩」	 藤崎洋「アース」

友好参加賞

 李玉純「呼吸するビル」	 菅原明「日影」	 熊田 幸和・文彦
 藤原 真実希	 小澤智大「海軍」	 小倉公太「大きく帰ってね」

*受賞作品を機関紙『友愛』569号に掲載し発表
*本協会ホームページ上に掲載発表

▶**募集テーマ**

「友愛」「平和」「緑(環境保護)」「人と自然」

▶**応募資格**

国籍を問わず、年齢13歳以上の者

▶**応募規定**

ひとり3作品まで。自作、未発表の作品を
インターネットで応募すること。紙焼き等の応募は不可

▶**広告・募集方法**

広 告：ホームページ上での広告・ポスター作成（各大学等貼り出し依頼）
募集方法：日本と中国の双方にそれぞれ応募サイトを設けインターネットによる応募に限っての受付とする

【2021年度分事業実施に関して】

上記事業概要・実施内容を基に中国における新制度の影響もあり、これらを解決するためには、費用の増大、コンクール運営方法の変更など検討すべき要因があったため、今年度（2021年）の本事業（友愛国際写真コンクール）の実施を見合わせた。

*第18回通常理事会（2021年10月16日土曜日／開催）において協議の上決定。

併せて、カウンターパートである中国国際青年交流中心の実働部門の縮小もあり、事業実施への影響も懸念されることから、新たに「中華社会文化発展基金会」との共催の可能性を視野に、事業実施への道を探ることとなった。

*第19回通常理事会（2022年1月13日木曜日／開催）において協議の上決定。
本事業は、言語を超えて友愛の理念を伝える有効な事業であることから、今後も継続していくことを前提に、実施の可能性を探るものである。

(2)小論文コンテスト

事業概要

イギリスの哲学者「フランシス・ベーコン」が「友愛の理念を以て、全人類の融和を」と説いたように、友愛理念の啓発は次世代を担う若者にこそ必要で、世界の平和に資する若者の育成は、必要欠くべからざる事柄である。世界の融和を求めるとき、隔たりとなる要因の一つに言語があり、世界でも特殊な言語である日本語を理解できる人材の育成は、友愛理念の啓発に重要な要素といえる。中国国内にある諸大学の協力を得て友愛についてのレクチャー（講演・ビデオ等）を行

い、参加学生より小論文を日本語で募り、優秀作品を表彰する。

事業実施

新型コロナウイルスの影響もあり、訪中して直接学生と交流し、勉強会を開催することが適わないことから、今年度はWeb（オンライン）による授業形式の勉強会（友愛についてのレクチャー）を開催した。

【中継地点】

北京語言大学／大講義室及び各教室

友愛事務局 鳩山由紀夫理事長事務所 攪上哲夫理事（本事業担当）

西川伸起理事 南埜幸信理事 その他

①勉強会開催

勉強会次第

【日時】2021年12月21日（火）日本時間15:00～17:00

【形式】オンライン授業（zoomを利用し、友愛側がホストとなる）

【会議の流れ】

15:00～15:10 北京語言大学の学長からのご挨拶／通訳：田昊先生

15:10～15:20 鳩山先生からのご挨拶／田昊先生

15:25～16:30 講演ビデオの鑑賞

（1）茂木健一郎先生のビデオ

（2）茂木健一郎先生と鳩山由紀夫理事長の対談ビデオ

（3）理事5名（鳩山友愛塾修了生）からのスピーチ

「私にとって友愛とは」

16:30～16:40 質疑応答

16:40～17:00 閉会のご挨拶（北京語言大学外国語学部主任 高明楽教授

【出席者】

日本側

公益財団法人友愛 理事長／鳩山由紀夫

理事／攪上哲夫 西川伸起 南埜幸信 事務局長／羽中田元美

中国側

北京語言大学 張宝鈞副学長

北京語言大学外国語学部主任 高明楽教授

北京語言大学外国語学部東方言語文化学院院長 楊峻教授（司会）

北京語言大学外国語学部東方言語文化学院日本語学科 田昊先生（通訳）

北京語言大学外国語学部東方言語文化学院日本語学科の学生

②選考・表彰

応募作品を第一次選考（北京語言大学日本語学科教授）の後、日本側にて審査選考する。

今年度の応募作品は15点であったが、2022年3月22日に届いたため、選考結

果は来年度に持ち越すこととなった。

北京語言大学教授・友愛理事・監事の採点を参考点とし、外部選考委員による採点を以て入選者を選考する。

選考委員会の結果を以て理事会に諮り、2021年度の入賞者を決定する。

表彰式は、状況をみながら判断し、可能であれば訪中し表彰式を開催する。

訪中が難しい場合は、Webによる表彰式を開催予定である。

位	奨学金(元)	授与	授与数	日本円（1元17円）
友愛賞	5,000	奨学金・賞状・記念品	1名	85,000×1 = 85,000
2位	4,000	奨学金・賞状・記念品	2名	68,000×2 = 136,000
3位	3,000	奨学金・賞状・記念品	4名	51,000×4 = 204,000
入選	———	賞状・記念品	4名	0

日本円 合計 425,000円

③その他

作品集『私にとって友愛とは』は、機会を得て配布し、友愛理念の普及、国際交流の意義を伝える一助として活用される。併せて本財団ホームページでは、作品集を閲覧に供し友愛理念の普及、国際交流による相互理解の促進に役立っている。



3、普及啓発活動

（定款 第4条 第1項 第(3)号に基づく事業）

事業概要

機関紙『友愛』の発行（隔月年6回）、ホームページでの活動状況の報告及び情報開示（法令で定められた情報開示を含む）を実施。

併せてリーフレット・書籍等の作成、配布及び友愛理念についてのレクチャー（講演・ビデオメッセージ）など行い、本財団の実施事業、実施目的などを広く伝達し、友愛理念の普及に努める。

これらを以て定款に定めるところの世界平和に資する事業として行う。

事業実施

(1)機関紙『友愛』の発行

- ・機関紙『友愛』は、6回発行された。

2021年(令和3年)度機関紙『友愛』発行履歴

2021年5月（第570号） 4,000部発行

- ▶2020年度 事業報告作成進む
 - 6月26日開催予定第4回評議委員会にて協議
 - 各事業とも十分な実施出来ず・収穫は若者の団結
- ▶「私にとって友愛とは」友愛賞(1位)・2位入賞作品
- 友愛小論文コンテスト2020年度受賞作品 紙上発表
- 北京/北京語言大学校内にて表彰式実施
- 受賞者への賞状及び作品集を作成・郵送
- ▶完成!! 鳩山一郎研究書
 - 政治家鳩山一郎の「再評価」に向けて…立正大学名誉教授 増田 弘
 - 理想主義者にしかできないことがある…公益財団法人友愛理事 中島政希
- ▶友愛ほんだな
 - 若者が見た『災害列島・日本』
 - 心のケア・・・東北大学3年 舘 宏輔
 - 写真が切りとる目の前の災害・・・東京大学3年 浦 彩人

2021年7月（第571号） 4,000部発行

- ▶第4回定時評議員会開催

2020年度事業報告・計算書類を承認
理事の選任及び定款一部変更を承認

- ▶第17回臨時理事会開催
鳩山由紀夫理事長を再選
理事11名再任 新理事2名選任される
- ▶ミャンマー農業支援・指導者育成事業
ミャンマー連邦共和国・日本
両国の未来を考える若者の集い
在日ミャンマー連邦共和国の若者・友愛ユニオンのメンバーなど多数参加
2021年度事業の柱「土壌改良・肥料作製」に協力の申し出多数
- ▶特集 世界から 若者の声
オーストリアから 国際交流の大切さ・・・ニコラウス・ペトロンスキ
中国から 二位の賞状をいただいて・・・張若玥
ケニア・ナイロビから 私の親友ローズマリー・・・成田 葵

2021年9月（第572号）特別編成号 4,000部発行

- ▶随想「2021年9月」理事長 鳩山由紀夫
- ▶友愛ほんだな ご紹介
友愛事務所所蔵書のご案内

2021年11月（第573号） 4,000部発行

- ▶第18回定例理事会開催
後半期事業予定・70周年事業など方針を確認
70周年事業にアーカイブ作製を承認
- ▶ミャンマー農業指導者育成事業
コンポストの効果・有機肥料について学ぶ
ミャンマー語のリーフレット作成を目指して
- ▶寄稿文 スポーツの「フランス革命」・・・長野県会員 安部白道
寄稿文 水運儀象台 あなたはご存じですか？
900年の時を超えて — 日中文化・学术交流
・・・劉 幸宇（LXY 国際交流研究所 代表）
- ▶公益財団法人友愛 国際交流事業
OEJAB 派遣員募集中・貴重な経験・新しい仲間との出会い
友愛ホームページに活動報告・募集要項など詳細を掲載

2022年1月（第574号） 4,000部発行

- ▶新春巻頭言
若者よ、友愛よ、大樹と育て！・・・理事長 鳩山由紀夫
- ▶友愛小論文コンテスト
オンラインによる講演会開催・北京と東京を繋いで
脳科学者茂木健一郎氏・鳩山由紀夫理事長対談

友愛理事五名による「私にとって友愛とは」

- ▶友愛ユニオンの会開催
友愛の旗のもと集う 全国からユニオンメンバー集結
- ▶友愛ミャンマー農業指導者育成事業
勉強会開催 ミャンマーの現状を知る
在日ミャンマーの方々から生の声を聞く
- ▶水運儀象台 あなたはご存じですか？
水運儀象台をめぐる日中文化交流・・・劉 幸宇（LXY 国際交流研究所 代表）

2022年3月（第575号） 4,000部発行

- ▶私たち一人ひとりが社会に役割を果たす「新しい公共」の時代へ
公益財団法人友愛は、税額控除対象法人の認定を受けました
・・・理事長 鳩山由紀夫
- ▶税額控除について ご案内とお願い
* 税額控除対象団体としての認定を受け、急遽発行に至った。
* 会員各位及び関係各位に周知することと、制度の説明を主に編集し、事務局内での制作となった。

◆ 送 付 先

会員・関係各位団体等 : 1,400箇所へ郵送
また、関係各所にて配布を実施。
海外関係先へ送付、配布依頼（中国国際青年交流中心・北京理工大学等）。

(2)ホームページの公開・更新

- ①随時ホームページを更新した。写真を多用し、「見て解る」活動内容の掲示に努めた。
- ②友愛会員登録はホームページから可能に設定してある。
- ③機関紙『友愛』バックナンバー（第1号～最新号[575号]）の掲示が完了しており、『友愛』発行毎に更新が行われている。
- ④QRコードを設定し、機関紙『友愛』紙上など機会をみて掲示。
一人でも多くの人に手軽にスマートフォンでホームページにアクセスできるよう普及に努めた。
- ⑤問い合わせ専用ページを作成し、メールでの問い合わせ連絡、寄稿など、利用しやすく改良した。



(3)創立 70 周年記念事業に向けての準備

- ①アーカイブ資料作成 ……記念誌（記録としての年表を軸に、ホームページ資料・機関紙『友愛』バックナンバー・40周年記念誌などにリンクした情報を電磁的に編集し作成する）作成へ向けての資料作り及び打ち合わせをすすめた。
- ②訴え掛ける記録としての「動画資料」作成 ……創立者鳩山一郎先生の創立当時（於：日比谷公会堂）など、友愛のこれまでが視覚的に解る資料としてDVDを作成するための構成・編集などの打ち合わせをすすめた。

(4)小冊子等の作成・配布

①リーフレット『友愛とは』の配布

本財団の目指す理念・歴史・活動を解りやすく案内しており、正にエッセンスとしての役割を果たすべく作成されている。

日本語の他、英語版・中国語版も作成し、国内外で折をみて配布している。



*現在内容の見直し、改訂版の作成など「あり方検討委員会」で検討されている。

②『私にとって友愛とは』バックナンバーの活用

表彰事業「友愛小論文コンテスト」に寄せられた作品『私にとって友愛とは』を年度別にまとめた作品集であるが、「友愛を各人の言葉で伝える」という役割をも果たしている。

日本語版は国内で、作品を綴った同世代（大学生・高校生）に折をみて配布し、中国語版が作成できた年度は、中国国内で交流した方々に配布し、友愛理解の一助としている。

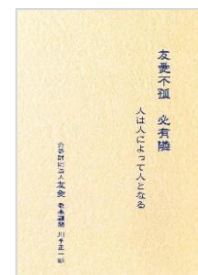


表紙

裏紙

③『友愛不孤 必有隣』の配布

友愛理解のために行われた講和・説話を含め、友愛の活動がわかる当財団の近代史として活用できるよう編集されている。友愛理解の一助として、必要に応じて都度配布している。



IV 業務執行

1、理事会開催

第16回 通常理事会

開催日：2021年 5月28日（金） 午後18時～

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して
実施事業関連：小論文コンテストに関して、第7回友愛国際写真コンクールに関して、機関紙「友愛」3月号(569号)5月号(570号)発行、「鳩山一郎とその時代」贈呈先より、受領・礼状届く

協 議 事 項：(1)2020年度事業報告書（案）
(2)2020年度計算書類（案）
(3)定款一部変更に関して
(4)次期理事の評議員会への推薦に関して
(5)評議員会の開催に関して

第17回 臨時理事会

開催日：2021年 6月26日（土） 午後12時～

場 所：友愛サロン

議 事：実施事業関連：小論文コンテストに関して、ミャンマー農業支援・指導者育成事業について、OEJABへの派遣・受入事業について、友愛国際写真コンクールに関して

協 議 事 項：(1)代表理事の選定
(2)資産運用に関する基本方針について
(3)2021年度事業実施についての報告及び協議
① 担当理事の選任 ② 実行委員の選任 ③ あり方検討委員会委員選任 ④ 70周年記念誌についての再確認及び編集委員の選任

第18回 通常理事会

開催日：2021年10月16日（土） 午前10時～

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して

実施事業関連：小論文コンテストに関して、 ミャンマー農業支援・指導者育成事業について、 OEJAB への派遣・受入事業について、 友愛国際写真コンクールに関して、 友愛創立70周年記念事業（記念誌作成等）に関して、 機関紙「友愛」9月号（第572号）発行、 税額控除団体認定の申請に関して

協議事項：(1)2021年度友愛国際写真コンクールの休止に関して
(2)友愛活動70周年記念／データベースによる記念誌作成に関して

第19回 通常理事会

開催日：2022年 1月13日（土） 午後18時～

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して

実施事業関連：小論文コンテストに関して、 ミャンマー農業支援・指導者育成事業について、 OEJAB への派遣・受入事業について、 友愛創立70周年記念事業（記念誌作成等）に関して、 友愛国際写真コンクールに関して

協議事項：2021年度OEJAB派遣員の決定

第20回 通常理事会

開催日：2022年 3月26日（土） 午前10時～

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して

実施事業関連：小論文コンテストに関して、 ミャンマー農業支援・指導者育成事業について、 OEJAB への派遣・受入事業について、 友愛創立70周年記念事業（記念誌作成等）に関して、 友愛国際写真コンクールに関して

協議事項：(1)2022年度事業予算書について
(2)2022年度事業計画書について

2、評議員会開催

第4回 定時評議員会

開催日：2021年 6月26日（土）

場 所：友愛サロン

議 事：代表理事および業務執行理事の職務執行報告

- (1) エヤップへの派遣・受入事業に関して
- (2) ミャンマー農業研修生招聘事業に関して
- (3) 「小論文コンテスト」に関して
- (4) 「友愛国際写真コンクール」に関して

協 議 事 項

- (1) 2020年度公益財団法人友愛の事業報告に関して
- (2) 2020年度公益財団法人友愛の計算書類に関して
- (3) 定款の一部変更に関して
- (4) 任期満了に伴う公益財団法人友愛の理事の選任

3、担当理事打ち合わせ会（運営委員会）開催

下記日程・時間の通り、事業を担当する理事が集まり、事業の実施について話し合う会が開かれた。

それぞれの事業の現状報告・問題提起・今後の方針など情報を共有し、事業を実行推進していくための話し合いが行われた。

なお、「担当理事打ち合わせ会」は、「運営委員会」として取り扱われることが、第20回通常理事会（2022年3月26日開催）において承認された。

【担当理事打ち合わせ会メンバー】

芳賀大輔理事／70周年記念事業担当

井田安信理事／ミャンマー農業支援・指導者育成事業担当

西川伸起理事／OEJAB受入・派遣事業担当

攪上哲夫理事／友愛小論文コンテスト担当

南埜幸信理事／友愛国際写真コンクール担当

【開催日・時間】

2021年 6月 1日（火）18：00～20：00
 2021年 8月 2日（月）18：00～20：00
 2021年 9月 7日（火）17：30～20：30
 2021年 10月 5日（火）18：00～20：00
 2022年 1月 11日（火）18：00～21：00
 2022年 3月 1日（火）18：00～20：00

4、あり方検討委員会開催

公益財団法人友愛の将来を見据え、事業のあり方、ガバナンスの徹底など多岐にわたり意見を求める場として、「あり方検討委員会」を設置（第13回臨時理事会決議）。特に次代を担う若者の参加を求め、これからの財団構築に資する人材、意見を見出す機会とする。

第3回（意見交換会として開催）

開催日：2021年12月4日（土）午後17時30分～19時30分

場 所：友愛サロン

出席者 戸澤英典 東北大学教授（公益財団法人友愛 評議員）
 田中正基 京都府立洛水高等学校教諭（公益財団法人友愛 評議員）
 西川伸起（公益財団法人友愛 理事）
 井田安信（公益財団法人友愛 理事）
 南埜幸信（公益財団法人友愛 理事）
 羽中田元美（公益財団法人友愛 事務局長）
 2017年度派遣員 戸澤春奈
 2019年度派遣員 後藤大智・成田 葵・森崎桃子・木本康瑛・
 吉田大志
 2020年度派遣員 小倉佑太・浦 彩人・舘 宏輔・田島桃子・龍 舞香・
 手塚七彩

第4回（意見交換会として開催）

開催日：2022年 3月26日（土）午後17時00分～17時40分

場 所：友愛サロン

出席者 戸澤英典 東北大学教授（公益財団法人友愛 評議員）
 西川伸起（公益財団法人友愛 理事）
 谷藤悦史 早稲田大学名誉教授（公益財団法人友愛 評議員）

井田安信（公益財団法人友愛 理事）

攪上哲夫（公益財団法人友愛 理事）

南埜幸信（公益財団法人友愛 理事）

中島政希（公益財団法人友愛 理事）

鳩山太郎（公益財団法人友愛 理事）

羽中田元美（公益財団法人友愛 事務局長）

2017年度派遣員 戸澤春奈

2019年度派遣員 後藤大智・成田 葵・木本康瑛・吉田大志

2020年度派遣員 小倉佑太・浦 彩人・舘 宏輔・龍 舞香・手塚七彩

2021年度派遣員 北島貴央・鈴木健太・計良 衛・佐野翔子・

後藤穂乃実・（オンライン参加 奥山千波）